

「ライブ! 現代社会」の使い方 ~一般ページ編~

一般ページで
基礎を
学習しよう!

一般ページでは、一つの学習項目について、「導入事例」→「資料・解説」→「まとめ」→「補足解説」の流れで構成されています。そのため、体系的に学習することができ、**自宅学習にも適しています**。また、教科書で学習した内容の復習や定期テスト対策、さらには**センター試験対策**として活用できる内容となっています。ここでは、p.123~124の「1 国民権と議会制民主主義」を例に、一般ページの構成をご紹介します。

※一般ページの使い方は本書の巻頭3にも掲載しています。

一般ページ大解剖!

●導入事例
単元の冒頭や大見出しごとに、インパクトのある写真で、学習項目とのかかわりのある**実社会の具体的な事例**を提示しています。単元や新たな項目の学習を始める際に、まずは**生徒の興味・関心を喚起**できるよう、導入事例としてお使いいただけます。なお、**Question**は、発問形式になっており、これから学習する単元の内容との関連を確認できます。

資料・解説
単元の内容を理解するために必要かつ十分なものを精選して掲載しています。資料は現実の社会を臨場感をもって理解できる**写真、グラフ、しくみ図**などを用いて、学習項目を理解しやすくなるように工夫しています。**解説**では、資料の内容を説明しており、文章は、生徒が自学自習で読んでもわかりやすいものになるように心がけています。また、ロゴの横には**見出し**をつけて、解説内容が一目でわかるよう工夫しています。

このページは「1 国民権と議会制民主主義」の導入事例と資料・解説のページです。写真、グラフ、しくみ図、そして解説文が豊富に掲載されています。

赤字、黒太字
赤字は近年のセンター試験で問われた用語です。黒太字は重要語句や箇所です。

まとめ
学習項目のポイントを板書形式でまとめています。箇条書きでまとめているので、一目で単元の全体像を確認できます。また、生徒が**自宅学習やテスト前の確認**にも活用できます。

補足解説
解説文中にある(→補)のついた用語を単元末でまとめて解説しています。解説では説明しきれなかった、用語の定義や背景を詳しく示しています。学習項目に直結する用語は**解説**で、そこから派生する用語はこちらで、効率的に学習できます。

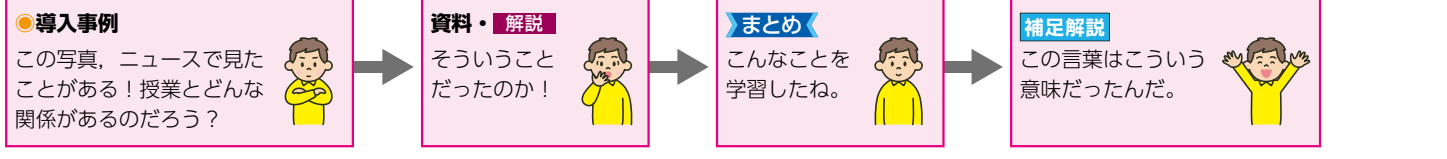
出題 頻出
近年のセンター試験で問われた内容のタイトルに付してあります。「頻出」は出題頻度が高いことを示しています。

センター○×チェック
センター試験の設問に○×で挑戦できます。正解とその解説は、次のページにある「答え」で確認できます。全100問挑戦できます。

一般ページの活用法

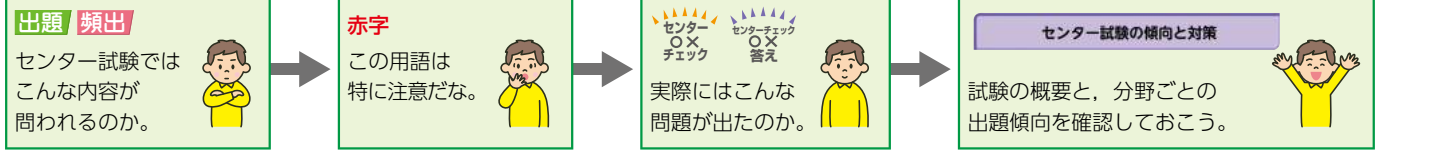
●一般ページを用いた学習の進め方

導入事例、資料・解説、まとめ、補足解説を使って授業をラクラク構成。生徒の予習・復習・自習も安心。



●一般ページを中心に用いたセンター試験対策の進め方

出題・頻出、赤字、センター○×チェック、p.315~318 「センター試験の傾向と対策」を使ってセンター試験対策も万全。



「ライブ! 現代社会」の使い方 ~特設ページ編①~

特設ページで
学習を
深めよう!

本書では、一般ページと異なる切り口から、学習項目を掘り下げさまざまな特設ページを設けています。ジャーナリストの池上彰さんが語るポイントをもとに、世の中の新しい動きを確認したり、学習項目の理解を深めたりすることができます。また、日常生活に役立つ知識を紹介した特設ページや、地図や流れ図を使った特設ページもあります。資料の読み取りや小論文対策にも最適です。それぞれの特設ページの特徴と活用方法をご紹介します。

※特設ページの使い方は本書の巻頭4にも一部掲載しています。

ニュースQ&A

社会で注目されている時事トピックを、Q&A形式で掘り下げて解説しています。生徒による素朴な疑問(Q)と、池上彰さんの明快な解説(A)で時事トピックへの理解を深めることができます。国内外のできごとを幅広く取りあげており、一般ページの理解にも役立ちます。アクティブ・ラーニング形式の授業にも対応できます。(全11テーマ)

授業の進め方

導入事例で生徒の興味・関心を喚起したのち、社会で注目されている時事トピックを掘り下げて学習できます。アクティブ・ラーニング形式でも進められます。



「ライブ感」のある写真で、時事トピックとのかかわりのある実社会の具体的な事例を提示しています。まずは生徒の興味・関心を喚起できるように、導入事例としてお使いいただけます。



Q&A

生徒による素朴な疑問(Q)と、池上彰さんの明快な解説(A)で構成されています。「私たちや日本にとってどのような影響があるか」という観点からの質問もあるため、自分と社会の問題が無関係でないと感じさせることができます。

未来への一票

今の日本で話題となっているテーマについて、論点をわかりやすく解説しています。はじめにテーマを理解するために必要な基礎知識を掲載したうえで、賛成と反対それぞれの立場の資料を掲載しているので、何が論点となっているのかがわかります。アクティブ・ラーニング形式の授業にも対応できます。(全4テーマ)

授業の進め方

一般ページで基礎的な概念を学習したあと、現実の社会で論点となっているテーマについて、掘り下げて学習できます。アクティブ・ラーニング形式でも進められます。

POINT

テーマを考える際のポイントを示しています。これをてがかりに、学習を進めていくことができます。



賛成・反対の整理

これまでの論点をふまえて、テーマに関する賛成・反対の意見を表形式にして、まとめています。

池上ヒント

生徒がテーマに関して賛成・反対を考える際にヒントとなる視点を、池上彰のキャラクターが語っています。

導入事例

テーマを考えるために必要な基礎知識を掲載しています。テーマを考える際の導入としての役割をもっています。そのため、文章だけでなく、写真やグラフ、新聞記事なども使って、生徒がテーマを現実社会の課題としてとらえ、興味・関心をもちながら考えられるよう、工夫しています。

論点

テーマに関していくつかの論点に分け、論点ごとに、賛成・反対の考えとその根拠となる資料を掲載しています。資料は写真、グラフ、まとめ表、新聞記事などを用いて、賛成・反対の根拠をわかりやすく示しています。

「ライブ! 現代社会」の使い方 ~特設ページ編②~

変化でみる現代社会

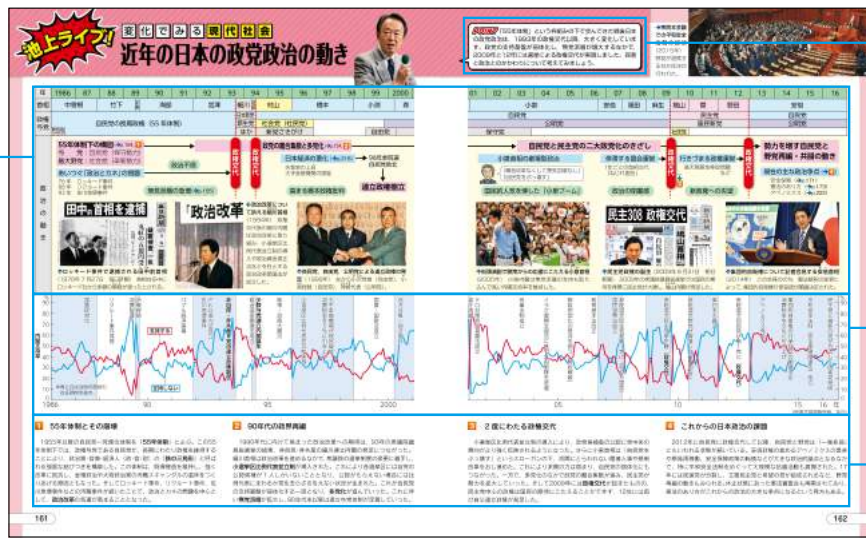
環境、政治、経済、国際をめぐる社会の変化を整理しています。大まかな流れを示す「流れ図」と写真、グラフにより、変化のポイントを視覚的にとらえることができます。一般ページへの参照ページも付しているので、学習項目同士の関連をはかることもできます。(全6テーマ)

授業の進め方

一般ページでそれぞれの内容を学習したあと、この特設ページで「流れ図」を示すことによって、**時間軸**でそれぞれのできごとがどのようにつながって現代社会の姿をなしているかがわかります。学習の導入として時代の特徴を大まかにとらえさせることもできます。

流れ図

できごと同士がどのように関連しているのかが確認できます。**写真**も適宜掲載して、その時代を感じられるよう工夫しています。



POINT

テーマをみる際のポイントを示しています。これをてがかりに、学習を進めていくことができます。

統計資料

テーマと関連の深い統計資料を掲載しています。時代の流れをより深く理解できます。

各時代の解説

それぞれがどのような時代だったのか説明しています。

地図でみる現代社会

さまざまな切り口の地図を用いながら、政治、経済、国際に関する問題を解説しています。地図を通してみることで、国内外のさまざまな課題をとらえることができ、資料の読み取りに最適です。また、地図同士を見比べることで新たな発見もできます。(全3テーマ)

授業の進め方

一般ページでそれぞれの内容を学習したあと、この特設ページで複数の地図や資料を重ねてみることで、現代社会を**空間軸**でとらえることができます。

POINT

テーマをみる際のポイントを示しています。これをてがかりに、学習を進めていくことができます。



地図

各テーマについて、おもに階級区分図を用いて、それぞれの国や地域の特徴がわかるようにしています。テーマの異なる複数の地図から新たな発見をすることもできます。

写真資料

テーマと関連の深い写真を掲載しています。上の「地図」と合わせてみることで、その地域の特徴をより深く理解できます。

ここで考えよう

スマートフォンを利用する際の注意点や、裁判員制度のしくみ、金融の基礎知識など、生活とかかわりの深いテーマを取りあげています。実生活のなかでそのような場面に直面した際に、自ら考え、判断し、行動に結びつく、**実践的な知識**を身に付けることができます。(全8テーマ)



ゼミナール政治経済

政治や経済の理論やしくみについて、具体事例やイラストを用いてわかりやすく解説しています。「現代社会」の深い理解に役だつのはもちろん、「政治経済」を学習するうえで押さえておきたい内容も、豊富に盛り込んでいます。**センター試験対策**にも最適です。(全14テーマ)



「ライブ! 現代社会」の使い方 ~特設ページ編③~

日本のニュース 世界のニュース

その年に日本、世界で起こったことを写真を中心に振り返ることができるようになっています。写真タイトルの色とロゴで、関連項目を本書のどの分野で学習するかがわかります。また、参照ページも付してあるので、学習項目とのつながりがわかりやすくなっています。

2017年日本のニュース

2017年10月15日 衆議院解散 10月22日 衆議院選挙

2017年7月 伊勢志摩 世界遺産に(7月)

2017年4月 奄美群島 特別区に(4月)

2017年6月 東京五輪 特別区に(6月)

2017年11月 熊本地震 特別区に(11月)

2017年世界のニュース

2017年1月 米大統領選 トランプ政権(1月)

2017年6月 世界各地でデモ行進(6月)

2017年7月 北朝鮮の核実験(7月)

2017年8月 北朝鮮の核実験(8月)

2017年9月 北朝鮮の核実験(9月)

センター試験の傾向と対策

センター試験の具体的な解き方の手順や分野ごとの出題傾向を掲載しています。分野ごとの出題傾向では、頻出分野を視覚的に確認することができ、実際の問題も数多く掲載されているので、試験対策として役立ちます。

センター試験の傾向と対策

センター試験の概要

大領域と平均点

出題タイプ

センター試験別解説

センター試験の傾向と対策

3ステップであなたも書ける! 小論文

小論文の書き方を3ステップに分類し、最初に書いた小論文を修正してよい小論文をつくっていくという流れで、ていねいに解説しています。大学入試での出題傾向や出題形式別の例題も掲載されているので、試験対策としても役立ちます。

3ステップであなたも書ける! 小論文

小論文の書き方

3ステップ

Step 1

Step 2

Step 3

資料活用のポイント

現代社会を理解するためには、各種資料をどのように読むかがポイントとなってきます。ここでは、新聞、統計地図、グラフや表についてそれぞれの資料の特徴や読み方を説明しています。センター試験や小論文だけでなく、大学一般入試にも活用できます。

新報の読み方(概論編)

新聞の読み方

読者の立場から読む

新聞の構成

記事の読み方

グラフや表の読み方

グラフや表の読み方

柱状グラフ

折れ線グラフ

散布図

統計地図の読み方

統計地図の読み方

人口密度

所得水準

産業構造

「ライブ! 現代社会」の使い方 ~特設ページ編④~

日本国憲法と主な法令

現代社会の学習の際に必要な日本国憲法と主な法令の一部を掲載しています。日本国憲法には解説をつけ、難解な用語を説明しています。

略語集

学習に必要な欧文略語と読み方、欧文正式名称、日本語訳、本書掲載ページを掲載しています。

日本地図, 世界全図

巻末には現代社会の学習の際に必要な日本地図と世界全図を掲載しています。

